

高等学校学習指導要領における「歴史総合（仮称）」の改訂の方向性①（案）

特
徴
目
的

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、近現代の歴史を理解する科目

○歴史の推移や変化を踏まえ、課題の解決を視野に入れて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目

○歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する科目

平成28年6月13日 教育課程部会
社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ
資料8-1

グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者を育成するために

現代的な諸課題につながる歴史的な状況(例)
 <a 自由と制限> <b 富裕と貧困> <c 対立と協調>
 <d 統合と分化> <e 開発と保全> など

学習内容
の
焦点化

●歴史の扉～歴史をなぜ学ぶか、どう学ぶか～(例:歴史と現在～現代的な諸課題)

・18世紀後半～現在

・産業社会と国民国家を形成する方向に社会が変化した。

●近代化と私たち～社会構造の変化を考察するために

【単元例】

<近現代の前史>17世紀前後の日本とアジア域内貿易
 ○産業社会の到来、政治の変革
 ○日本の改革、アジアやアフリカの変容など
 (まとめ)歴史と現在①～近代社会

【考察を深める問いの事例】(例)a～bなどを中心として

・日本・世界はどのように結び付いたか
 ・工業化と政治変革は何をもたらしたか
 ・日本、アジアやアフリカはどのように変化したか
 (まとめ)社会の近代化は何をもたらしたか など

・19世紀後半～現在

・大衆の参加の拡大が社会全体の在り方を規定するようになりはじめた。

●大衆化と私たち～個人・集団と社会との関わりを考察するために

【単元例】

○大衆社会の形成、社会運動の高まり
 ○国際紛争と国際協調、日本の外交
 ○大戦後の世界・日本など
 (まとめ)歴史と現在②～大衆社会

【考察を深める問いの事例】(例)a～cなどを中心として

・なぜ政治参加と文化活動が拡大したか
 ・なぜ世界大戦がおこったのか、日本はどう対応したか
 ・大戦を経て、どのように社会は変わったか
 ・(まとめ)社会の大衆化は何をもたらしたか など

・20世紀後半～現在

・人・モノ・カネ・情報等が国境を越えて一層流動するようになった。

●グローバル化と私たち～持続可能な社会を展望するために

【単元例】

○多極化と地域統合
 ○地域紛争と国際秩序
 ○世界とそこの中の日本など
 ・(総括)持続可能な社会への展望～歴史と現在③～グローバル社会

【考察を深める問いの事例】(例)a～eのいくつかから

・冷戦構造の変化は何をもたらしたか
 ・冷戦終結後も、なぜ地域紛争は続いたのか
 ・日本は国際社会にどのように関わってきたか
 (総括)国際社会のグローバル化は新たに何をもちたか、あなたはどんな日本/世界を求めたいか など

取り上げることが考えられる題材

…アジア域内貿易、産業/市民革命、近代科学、立憲政治、資本/社会主義、明治維新、国民国家、国民文化、政党政治、ジャポニズム、消費社会、マスコミ、教育、移民、帝国主義、総力戦、植民地、大正デモクラシー、国際協調、世界/昭和恐慌、全体主義、冷戦、地域紛争、地域統合、ナショナリズム、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済…など

歴史の学び方(例)

○社会的事象等の歴史的な見方や考え方をういて学ぶ方法(例)
 ・時期、推移や変化に着目して、

・比較して相違や共通性などを明確にし、
 ・因果など事象相互の関連性に留意して、

⇒事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察するなど

* 考察を深める問いについては、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を視野に入れて設定することが考えられる。

* 各単元の導入において、「現代的な諸課題につながる歴史的な状況」を踏まえた単元の全体構想を示すことが考えられる。

* 上記(まとめ)は、中学校までの既習事項を活用しながら、歴史の大きな転換が現在とどのように関わっているか考察する単元として構成することが考えられる。

高等学校学習指導要領における「歴史総合（仮称）」の改訂の方向性②（案）

平成28年6月13日 教育課程部会
社会・地理歴史・公民
ワーキンググループ
資料8-2

現行歴史系A科目

資質・能力

新必修修科目「歴史総合（仮称）」

社会的現象の歴史的な見方や考え方を働かせて右の資質・能力を育む

世界史A

- 1 世界史へのいざない
- 2 世界の一体化と日本
- 3 地球社会と日本

関連付け

日本史A

- 1 私たちの時代と歴史
- 2 近代の日本と世界
- 3 現代の日本と世界

○世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の理解

○ 諸資料から情報を効果的に収集する・読み取る・まとめる技能

○諸事象等の意味や意義、特色

世界とそこにおける日本を広く相互的な視野から捉えて、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を考察する科目

や相互の関連について、概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に関わる諸課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力

○主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究しようしたり、よりよい社会の実現を視野に世界とそこにおける日本の在り方について歴史的な観点から意欲的に追究しようしたりする態度 など

○ 歴史の扉

中学校社会科の学習を振り返り、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を題材に、歴史を学ぶ意義や歴史の学び方について考察する

○ 近代化と私たち

近現代の前史としての日本とアジア域内貿易に続き、産業社会と国民国家の形成を背景とした人々の生活や国際関係の変化を扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ 大衆化と私たち

大衆の社会参加の拡大により、人々の生活や社会の在り方が変化したことを扱い、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史の諸事象について考察する

○ グローバル化と私たち

グローバル化する国際社会を背景とした人々の生活や社会の在り方、国際関係の変化を扱い、現代社会を理解し、持続可能な社会の在り方を展望する

現代的な諸課題につながる歴史的な状況(例)

「自由と制限」
「富裕と貧困」

「対立と協調」

「統合と分化」
「開発と保全」
など

取り上げることが考えられる題材

…アジア域内貿易、産業/市民革命、近代科学、立憲政治、資本/社会主義、明治維新、政党政治、国民国家、国民文化、ジャポニズム、消費社会、マスコミ、教育、移民、帝国主義、総力戦、植民地、大正デモクラシー、国際協調、世界/昭和恐慌、全体主義、冷戦、地域紛争、地域統合、ナショナリズム、難民、高度経済成長、多国籍企業、市場経済…など

[参考]

- ・現行中学校社会科の歴史的分野の学習では、我が国の歴史の大きな流れの理解をねらいとしている。(各時代の特色を捉える学習他)
- ・歴史の大きな転換に着目し、単元の基軸となる問いを設け、資料を活用しながら、歴史の学び方を習得する。
- ・考察を深める問いについては、取り上げる時期を広げて設定したり、多様な地域を視野に入れて設定することが考えられる。